

山口県立大学とドコモが「災害時における相互連携協力に関する協定」を締結

公立大学法人山口県立大学（以下 山口県立大学）と株式会社 NTT ドコモ（以下 ドコモ）は、地震や豪雨などの大規模災害が発生した際に、より早く安全な支援ができる体制をつくるため、「災害時における相互連携協力に関する協定」を2026年3月10日（火）に締結しました。本協定は、ドコモが中国地域で大学と締結する初の協定であり、地域の災害対応力を高める新たな取り組みとして位置づけられています。

近年、地震や豪雨などの災害が全国的に増加する中、通信インフラの復旧や避難者支援をより早く進めるためには、企業と大学が互いの強みを生かした協力体制をつくることが求められています。今回の協定では、災害発生時に応急復旧に必要な機材の設置場所の提供、通信手段確保に向けた端末や充電機器の貸出、大学施設を活用した復旧拠点の確保などを進めます。また、平常時から防災に関する情報交換や共同訓練を行い、地域全体の防災力向上を図ります。

両者は、本協定を通じて災害時の安全確保と早期復旧への貢献をめざし、持続的な地域支援体制の強化に取り組んでいきます。



山口県立大学の岡理事長(左)とドコモ山口支店の吉岡支店長 (右)

1. 協定の名称

「災害時における相互連携協力に関する協定」

2. 協定締結日

2026年3月10日(火)

3. 協定の主な内容

(災害時の相互協力)

- 通信復旧に必要な応急復旧機材の設置場所・仮保管場所の提供
- 災害時における代替活動場所の提供
- 大学および避難者に対する通信復旧支援（避難所への通信機器の貸出しなど）

(平常時の活動)

- 災害対応に関する情報連携

4. 協定イメージ



【報道機関からのお問い合わせ先】

山口県立大学 総務部総務部門 小池

TEL : 083-929-6600 mail: ypusoumu@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp